

前田のりよし 議会NEWS Vol.24

その他の活動報告



国道57号滝室トンネル貫通式に参加



水俣病犠牲者慰霊式に参加



新しくなった「阿蘇くまもと空港」を視察



豪雨被害の被災地を視察



新設の県防災センターを視察



国道3号北・植木バイパスの開通式に参加



県立第二高校卒業式で祝辞



信号機設置で地元の要望が実現



拉致被害者の一括帰国を求める全国集会に参加



朝の街頭でご挨拶

《前田のりよしプロフィール》

- 1964年8月16日生まれ 58歳
- 桜木小学校、東野中学校、県立第二高等学校、熊本商科大学(現熊本学園大学)卒業
- 学習塾、税理士法人勤務を経て、平成19年熊本市議会議員初当選
平成23年熊本県議会議員初当選 現在4期目
- 資格等：医業経営コンサルタント、CIFPA地方監査会計技術者、
NIE.E(新聞による経済教育)講師指導委員・熊本支部長
- 趣味：スポーツ観戦、旅行

その他、詳しくは
【前田のりよし『誠心誠意』公式Webサイト
【熊本県議会】ホームページをご覧ください。

前田のりよし『誠心誠意』公式ウェブサイト
<http://maeda-noriyoshi.net/>
前田のりよし公式Webサイト



熊本県議会ホームページ



Instagram



twitter



facebook



住所：熊本市南区南高江6丁目19-50
連絡先：県議会公明党
096-333-2645
携帯：090-1871-6631
Email：maeda@komei-kumamoto.jp

ごあいさつ

皆様方には、日頃より県政へのご指導・ご鞭撻をいただきまして誠に有難うございます。前田のりよしは皆様からのご支援を賜り、県議会4期目のスタートを切らせていただきました。これよりは、更に、県民の皆様からの声を県政にしっかり届けて行く決意です。新型コロナウイルスは5類に移され、報道の形も変わってきましたが、感染者は減っていません。マスク着用は個人の判断ですが、各人の感染対策は引き続き行っていきましょう。今回は、令和5年第一回定例県議会での「代表質問」の内容と、これまでの活動の模様を紹介させていただきます。どうぞご覧下さい。



緊急要望

物価高騰から県民生活と事業活動を守り抜く対策が実現!!

昨年より、国の物価高騰対策(電気代、ガス代、ガソリン代等)が実施される中、県民の皆さんからは「まだ負担感がある」「LPガスも値上がりしている」等のご意見を多くいただきました。県議団会派で「物価高騰から県民生活と事業活動を守り抜くための国による追加の物価高騰対策等を見据えた緊急要望」と題して蒲島知事宛てに緊急要望を実施。LPガスへの支援、電気代への追加の支援等速やかに対応するよう訴えました。その後、国や県下市町村との連携が行われ、6月議会での議論の結果、LPガス家庭への支援、交通事業者への支援等要望が実現。早期実施に取り組みます。



県政報告会

改選後も各地で県政報告会を実施

皆さまからの要望が実現した事、地域の身近な課題や問題提起に耳を傾け、解決に向けて頑張っております。



【前田のりよし代表質問】 県議会で16回目の質問に立つ

[主な質問内容]

《質問》 熊本県として持続可能な社会を目指していく中で、SDGs全体の認識について知事に尋ねる。

《答弁》 蒲島知事：官民一体となって取り組む必要がある。引き続きオールくまもとでの取組みを推進し、蒲島県政の最大の目標である「**県民の総幸福量の最大化**」を実現してまいります。



《質問》 認知症の正しい理解の促進について。

《答弁》 蒲島知事：認知症になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる“長寿で輝く”くまもとの実現を目指している。そのため、県民一人一人が認知症のことを正しく理解し、行動できるよう、**認知症の当事者であられる方を「くまもとオレンジ大使」として任命した**。認知症の方がいきいきと輝いている姿を発信することは、認知症に対する社会の見方を変えるきっかけとなるとともに、認知症の方々の希望につながる。今後は、大使の皆様のご協力のもと、**認知症の方やそのご家族の視点を重視した取組みを広げる**ことで、認知症に対する理解促進に努めてまいります。

《質問》 次期ヘルスプラン策定において特に重視する内容は何か。

《答弁》 健康福祉部長：適切な運動や食事をサポートするアプリなどのITCを活用することで、一人一人の健康状態等に応じたオーダーメイドの支援などに力を入れ、**本県健康課題の解決に向けた実効性のあるプランの策定に努めてまいります**。



《質問》 がん対策推進について。

《答弁》 健康福祉部長：本県では、がん対策推進計画を策定し、予防の観点から、食生活や運動、喫煙といった生活習慣の改善や、がん検診の受診率向上などの取組みを進めている。次期計画において、**企業と連携したがん検診の啓発による更なる受診率の向上に向けた施策等に取り組む**と考えている。

《質問》 県民の健康増進に向けた健康増進施設のさらなる活用と次期ヘルスプランへの反映の方向性はどうか。

《答弁》 健康福祉部長：次期ヘルスプラン策定の策定過程において、専門家のご意見もいただきながら、**健康増進施設の活用も含めた県民の健康づくり**について、しっかり協議してまいります。

《質問》 「9価のHPVワクチン」が公費で接種でき、接種率の向上が期待されているが、県としてHPVワクチン接種機会の周知についてどのように取り組んでいくのか。

《答弁》 健康福祉部長：HPVワクチン接種の積極的勧奨再開については、県としても、広報媒体を活用し、周知の強化を図っている。**9価ワクチンの情報についても、接種対象者等に確実に届くよう、引き続き市町村等と連携し、周知等の取組みを積極的に進めてまいります**。

《質問》 今後も「ウィズコロナ」が続いていく中で、当事者の不安や悩みをしっかりと受け止める相談体制の充実が望まれるところである、コロナワクチン接種後の副反応とコロナ罹患後の後遺症対応に向けた取組みについて。

《答弁》 健康福祉部長：ワクチン接種後の副反応については、専門的な相談窓口を設置するとともに、かかりつけ医や身近な医療機関での対応が困難な場合には、専門の医療機関で診療できる体制を整備している。コロナ罹患後の後遺症については、必要に応じて専門的な医療機関への受診を促すなど、寄り添った対応に努めている。**4月中には後遺症の診療を行っている医療機関を症状別や地域別にリスト化し、県ホームページで公表することとしている**。



《質問》 「こども図書館」の開館に向けた思いと取組について。

《答弁》 蒲島知事：私は、安藤氏から寄贈いただく「こども図書館」が、新たな熊本の宝として、**県民に末永く愛されるようにしたい**と考えており「**県民参加型**」での運営を目指している。子供たちの豊かな感性や想像力を育むテーマの検討や、図書の選定を進めてまいります。安藤氏の思いに県民みんなで感謝しながら「**こども図書館**」が**未来を担う子供たちの夢実現に向けた架け橋**となるよう取り組んでまいります。

《質問》 各種スポーツ大会のレガシーと今後の活用について。

《答弁》 蒲島知事：昨年1月に、官民一体でスポーツによる誘客を推進する組織「**くまもっと旅 スポコミッション**」を設立、スポーツが持つ多様な力を県の活性化につなげるため、国際スポーツ大会の招致を図っている。このような中、4つの国際大会が本県で開催されることとなり、大会開催を成功させ、定期開催化や次なる国際スポーツ大会の招致につなげてまいります。**スポーツ大会のレガシーを継承し、国際イベント招致を通じて、より多くのインバウンドを獲得する等、交流人口の拡大と経済効果の最大化に取り組んでまいります**。

《質問》 新公会計制度導入の効果と今後の利活用について。

《答弁》 総務部長：今後老朽化が進む**公共施設の計画的な更新や長寿命化などの公共施設マネジメントに活用できるもの**と考えている。引き続き情報収集を行いながら、国の研究結果を参考に、より効果的な活用策を検討してまいります。

《質問》 教員不足対策と人材確保について。

《答弁》 教育長：再任用職員について積極的な働きかけを行うことにより、**ベテラン教員を確保**することとしている。また、今年度から新たに教職に就いていない**免許保有者の掘り起こし**についても力を入れて取り組んでいる。

